

浮穴地区タウンミーティング(要約)

テーマ：浮穴地区のまちづくりについて

令和2年7月24日（金曜日・祝日）

【市長】 おはようございます。今日は、休日の午前中ということで皆さん何かと予定があっってお忙しかったのではないかと思います。お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の開催に際しましては、浮穴地区連絡協議会の会長をはじめ、役員の方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。当初、浮穴地区でのタウンミーティングは4月26日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期させていただきました。市民の皆さんが外出を控えてくださったり、また密閉、密集、密接の三つの密を回避してくださったりして、防止対策を一つ一つ積み上げてくださった結果、開催できることになりました。皆さんのご理解とご協力に心からお礼申し上げます。松山市では、約2カ月、新しい感染事例は出ておりませんが、感染リスクがなくなったわけではありません。市民の皆さんには、社会活動や経済活動を回復させつつ、また決して気を緩めずに感染を回避する行動をどうぞよろしくお願ひします。さて、タウンミーティングは、私の市長就任当初から始めさせていただき、今回が120回目になります。現在、3期目に入らせていただいていますけれども、これまで、タウンミーティングに参加された皆さんから「市の取り組みを知ることができて勉強になった」との声を多く頂きましたので、今日も意見交換の合間に広報タイムをとらせていただいて、現地現場で業務に携わっている市の職員から、市民生活に役立つ情報を紹介します。タウンミーティングで頂いたご意見には、できる限りこの場でお答えをして帰ります。でも中には国と関係をする案件、愛媛県と関係をする案件、財政的によく考えなければならない案件などがあると思います。そういった内容にいい加減な返事をして帰るわけにはいきませんから、いったん持ち帰って検討させていただき、1カ月をめぐりに参加者の皆さんに答えをお返しするというのが、このタウンミーティングの特徴です。今日は、これからの浮穴地区のまちづくりについて有意義な意見交換をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

【男性】 日ごろは松山市のいろいろな課に連絡することがあるのですが、非常に早く、また、優しく対応してくれます。私の質問ですが、南高井町でも空き家がかなり増えていて、地域の方から「空き家の枝が、お隣や前後の家にはみ出て、毛虫がわくので、枝を切ってかまわないか」という話がありました。枝を切るためには敷地内に入らなければいけないので、「地権者が分かれば枝は切れる」という話をしていましたが、1カ月前に、近所の方から「タヌキがすんでいる」と電話をいただきました。タヌキが出没している写真をもらったので、私が松山市の住宅課にお電話したのですが、1週間たっても10日たっても連絡がないので、「私の連絡事項について、どんなになっているので

すか」と聞いたら、「職員を3人くらい行かせて、写真も撮ったのですが、地権者が分からないので探しています」という話でした。私も頼まれた以上タヌキが一番問題になると思い、再度、電話して「どうなっているんですか」と聞くと、住宅課の課長から、「地権者が分かり、今、地権者に文書を送りお話をしているところです」との回答をいただきました。木は通学路まで伸びてはいますが、剪定（せんてい）はある程度いいと思うんですけど、タヌキについては、今4～5匹いるらしく、子どもに危害を加えられたり、近所の農作物を荒らされたりすることがあります。南高井がタヌキの動物園みたいになったら困りますので、タヌキだけは何とかしていただきたいというのが私の希望です。

【都市・交通計画課長】 いろいろやり取りしていただきまして、ありがとうございました。時間がかかっていることは、大変申し訳ございません。先ほどのお話の通り、空き家といえども地権者がいらっしゃるので、勝手に市が強制的に入ることは非常に難しい状況です。今、地権者が見つかったとのお話がありましたので、タヌキをどうするかということは、早速、持ち帰って住宅課としっかり協議をしてお答えさせていただきます。地権者が松山にいないなどということもありますが、ある程度了解を得て、例えば松山市道に木が出ている部分は道路管理課で処理をすることもできますので、総合的に考えさせていただいたと思います。

【男性】 意見を述べさせていただきます。私は浮穴地区では人を育てることが、一番大切だと思います。地方公務員も一般の人も違う部分はある、一般の人には、公務員の仕事が分からないことが多いです。浮穴地区は、農家が非常に多かったわけですが、今は一般の人が大部分です。役員の人でも一般の人を入れてその人の意見を聞いてみる必要があるのではないかと思います。行政という視点で、農家中心から一般の人に主体を移さないといけないと思います。それに、役員の養成にはそれなりに時間がかかります。役員になりたい人には手当が出せるのならそれなりに出した方がきちんとした仕事をします。タダで仕事をすると金をもらってないからといって、いい加減な仕事をします。私もそれに遭いました。最低賃金でもいいし、また関係利害人からお金を取ってもいいし、役員に公平にしてもらうことが一番だと思います。初めは慣れていないけれど、役員をしたら、なんとか慣れてきます。それと決めるときには、文書を書いてほしいです。みんなが了解をしていることを、確認する意味でも必ず文書にしてほしい。いつどこで誰が何をしたということを書いておくは無責任な仕事はできない。なぜならば誰がやったかが分かるからです。別にこれは難しい話ではないです。用紙の一枚に日時と場所と役員名とそのとき何をしたかというだけです。こうしておく一人では決められなくなります。少なくとも私が関係した役員はこれできていなかったです。これは農家主体だったから起こったので、農家だけでなく一般の方、私のところは一般の方が大部分ですから、そういう方に役員になっていただくのが筋だと思います。

【まちづくり推進課長】 地域活動については、皆さんのお力をいただきながら、私ももご協力させていただくということで、市政の重要な活動だと認識しています。いつもお世話になっていまして大変ありがとうございます。地域団体のことについて先ほどありました、役員さんの仕事の分担や任期のことなど、さまざまな事情があると思います。地域の総会というものがそれぞれ会の中にあろうかと思しますので、地域の皆さんと一緒に課題や仕事の分担などを話し合いの中で決めていただき、それを先ほど文書でというお話がありましたが、当然、総会になりますと、文書で書き留めておいて皆さんが見て納得して決めていただくということが通常の形となっています。他の地区でも皆さんで協議をいただき、納得して活動していただきますのでよろしくお願ひします。

【女性】 私は浮穴地区の民生児童委員をしています。私からは地元の高齢者の方から要望がありまして、南高井町内のごみステーションのごみ回収についてお願いがあります。場所は松山市の●●にあるごみステーションです。現状としては水曜日と土曜日の週2回、可燃ごみのみ回収をしていただいています。そこで、こちらのごみステーションで、プラスチックごみやビンカンごみを回収していただきたいというお願いです。南高井町も非常に高齢化していて、高齢者の方は徒歩で比較的交通量の多い県道沿いのごみステーションまで杖をついたりシルバーカーの上にごみを載せたりしてプラスチックごみやビンカンごみを出している状況です。私が民生委員で担当している90代の独居高齢者の男性は、プラスチックごみやビンカンごみを出しに行くことが大変だから、ご自宅の車庫にごみを積み上げている状況です。私は、ごみの問題というのは生活に直結した問題であって、松山市全体の課題ではないかと考えています。私たち民生児童委員もできることはお手伝いさせていただきますので、これからますます高齢化が加速していく中で高齢者が、とにかく安心安全に、そして正しくごみ出しができるようご検討ください。

【保健福祉政策課長】 ごみの集積所を新しく作る場合には、収集場所が今よりも多くなってしまうことで、収集の効率が低下しないように、利用していただくエリアの世帯数に応じて基準を設けています。可燃ごみでは、およそ20世帯以上の一つ、資源ごみでは50世帯以上の一つという基準があり、地域の皆さんで維持管理することも含めて、町内会長さんなど地域を代表される方の同意をいただいた収集場所の設置の申請書を提出いただいています。このため利用する世帯数が増えていないエリアで新しく集積所を設置することは難しいと思いますけれども、現在、利用している集積所をご高齢の方が利用しやすい場所に移設することは、数が増えないのでできると思います。まずは、該当する集積場所の利用状況などをご確認いただいた上で、清掃課にご相談いただけたらと思います。また、ご高齢の方が安全安心に暮らしていくためにというお話が最後になりましたけれども、地区の社会福祉協議会では、地区の皆さんが“お互いさまの心”

で支えあう活動を進められていて、それぞれの地区で活動していただいています。お互いさまの助け合いの活動ということなので、地区の状況やご協力いただく方の状況によってサービスの内容は異なりますけれども、例えばご高齢の方の話し相手になっていただいたり、お買い物のお手伝いをしていただいたり、地区によってはごみ出しをお手伝いしていただいたり、そういう活動をしている状況です。このようなご支援を希望される場合は、松山市の社会福祉協議会にお問い合わせいただいたらと思います。

【市長】 日ごろから民生児童委員の活動をしていただき、ありがとうございます。先ほども申し上げましたが、「今日のタウンミーティングでこのようなご意見を頂きました」と清掃課に伝えて、電話されたときに話がスムーズに通るようにしておきます。また先ほどご紹介したとおり、社会福祉協議会ではごみ出し支援をしている地区もありますので、希望される場合にはお問い合わせいただいたらと思います。また全体的な話になりますけれども、私が、平成22年に就任をさせていただいて、タウンミーティングは120回目になりますけれども、市民の皆さんから、「松山市も高齢の方が増え、プラスチックごみに比べると可燃ごみは重く、それを持って行くのがなかなか厳しくなっている」というお声を頂いています。そのため、市全体として、何かできることはないのかと他市の事例を見ながら検討しているところです。今日も貴重なご意見を頂きました。皆さん、松山市内のごみの集積場所は何カ所くらいあると思いますか。なかなか知っている人はいないと思います。松山市のゴミの集積所はおよそ2万カ所あります。朝から収集をして回るのですけれども、ごみ収集車が停まることで、車が渋滞してしまったのではいけませんから、ごみ集積場所は離合のできる場所が必要になってきます。効率のいい収集ができるルートを考えなければならない。また、高齢の方が出しにくくなっている現状も捉えていますので、他市の事例を見ながら何かできることはないかというのを、引き続き検討していきたいと思います。

【男性】 防災無線のことでお願いしたらと思います。昨今のように災害がこの辺りも増えています。4、5日前の新聞の読者投稿欄に「防災無線が聞こえない」という意見が出ていて、同じような場所があるのかなと思いました。南高井の防災無線は杖ノ淵公園に付いているのですけれども、以前から聞こえにくいと聞いているので、この改善として、柱を建てて増やすというのもなかなか大変な工事だと思うので、鮮明に放送できる性能のスピーカーに取り換えてみる方法も一つやってみる価値があるのではないかと考えています。せっかくの防災無線が聞こえないというのでは意味がないと思うので、ぜひ検討していただいたらと思います。

【防災・危機管理課長】 防災行政無線は、緊急情報をしっかり流していくため市内に284カ所スピーカーを設けています。その中の一つに南高井もあります。実際に防災行政無線は、大雨や家の雨戸を閉めていると聞こえにくいことがありますので、今年度からは避難勧告を出すときにはまずサイレンを鳴らしてから、防災行政無線で緊急放送

をするようにしました。また、防災行政無線と同じ内容をテレビなどですぐに流せるように本部で対応していますので、テレビもしっかり見ていただきながら内容を確認していただければと思います。

【市長】 防災行政無線は難しくて、スピーカーの近所の方はうるさく、遠い方は聞こえにくくなっています。向きを変えたりすることもできますが、今の住宅は機密性が高くなり、ペアガラスの家も出ています。強い雨が降ったときや、道に近く車の通りが多い場所でも聞こえにくいことがあります。先ほど申しました通り、防災行政無線とテレビで流れる内容は同じです。皆さんに、どのように情報を得ているかアンケートを取らせていただくと、「テレビから」という方が多くいらっしゃいました。そのため、NHKや民間放送さんとお話をして、情報を出してもらうようにしています。先ほど、スピーカーを換えることを言っていたいただきましたが、お金がかからないアイデアでやれることがあります。皆さんの全てのご家庭に配られている市の広報紙の一番下に「災害時などの防災行政無線は電話で確認できます。松山・北条986-7755、中島997-1193」と記載しています。これは、中島と松山・北条はシステムが異なるため番号は違いますが、これだとお金はかかりません。皆さんには防災行政無線が聞こえにくいときは、電話をかけていただいたら、同じものが聞こえます。これは交流している東京の狛江市の広報紙を見て、松山市でも、1年くらい前から広報紙に入れるようになりました。皆さんの大切な税金をお預かりしていますので、お金をかけずに工夫しながらやれることがないかを考えていきたいと思っています。

広報タイム「新しい生活様式」での熱中症予防

【男性】 地域づくりに関してお聞きします。まちづくり協議会についてですが、平成17年に堀江地区でモデルケースとして設立したまちづくり協議会は、平成21年に地域におけるまちづくり条例の施行によって各地区で設立されていて、現在41地区中31地区が設立されていると伺っています。残り10地区の中に浮穴地区が入っています。松山市としては全地区に協議会が設立された後に、新たなステージとして住民主体のまちづくりを構想されていると思いますが、今後、設立されていない地区に対して、その解消に向けてどのような対応を考えているかお伺いしたいと思います。

【まちづくり推進課長】 先ほど、ご説明いただきましたが、41地区のうち、あと10地区がこれからまちづくり協議会を立ち上げようというところです。市の職員が地区の代表者の方々とお話を進めているほか、コミュニティアドバイザーという方もいるので、そういった方と一緒にまちづくり協議会を立ち上げた後に、どのような地区にしていくのか具体的な話し合いをさせていただきます。また、どのタイミングで設立に向けて動いていくのかということも、回数を重ねた説明をしています。まちづくり協議会を立ち上げたらどのようなことがあるのか、具体的に言いますと、さまざまな活動に使

える地域への交付金を出しています。浮穴地区でも代表者の方々と今後、協議会の準備会の立ち上げについて、話し合いをさせていただきたいと考えています。

【男性】 確認させていただきたいのですけれども、残りが10地区と少なくなってきた、今までの動きを変えて積極的に何かをすることではないということでしょうか。

【まちづくり推進課長】 これまでも同じような形で説明をさせていただきまして、地区の中には「今は難しいですが、こういうときになったら」というところがあります。そういった地区には、担当が変わっても新しい職員が「今はどうでしょうか」とごあいさつに伺い、お話し合いを積み重ねています。市としては全地区の設立を目標にしていますので、考え方を変更していることはありません。職員が何回もお伺いすることで「うるさいなあ」と思うことがあるかもしれませんが、話し合いを続け、少しでも前に進むように努力していきたいと思っています。

【男性】 公営企業局の上下水道がありますが、浮穴地区は松山市の水源になるなど貢献しています。それで、下水道事業のことですが、石井・久米辺りはほとんど下水道が完成していると思うのですが、浮穴地区は当分先と聞きます。どのようになっているのでしょうか。

【市長】 下水道計画について述べさせていただきます。下水道で処理した水は、きれいにして海に流します。ですから下流から上流に向けて整備をしていきます。例えば、城北ですと、和気の海のそばに処理をする施設があります。数字が間違っていたら申し訳ないのですが、平成一桁の時代は、国が「できれば公共下水道を進めていきましょう。お金を貸しますから、各地方で公共下水道をどんどん伸ばしてください」と話している時代がありました。その時は、たしか年間167億円の金額をかけて松山市全域に公共下水道を敷いていく計画でした。でも時代がどんどん変わって、中村時広前市長が就任した時に、これでは市の財政がもたないということで、たしか年間83億円で公共下水道整備計画を修正しました。私の代になってもこれではもたないと、たしか年間65億円で広げていこうという計画にしました。そうすると、どんどん公共下水道の整備が遅くなりますけれども、松山市では、公共下水道と合併処理浄化槽の二つを併用しながらやっています。全て公共下水道を敷いていこうと思ったら、ものすごく税金がかかります。地面の下の話ですから、掘らないといけません。工事も長く掛かります。今、何をすべきなのかというのを考えながらやっています。できるだけ皆さんに市の情報をガラス張りにしたいということで、上水道の財政や下水道の財政などの情報を出しています。なかなか難しく、平成一桁の金利が高い時代に、国は地方にお金を貸しています。国はそれをあてにして地方に貸しているので、地方として金利の安いものに換えさせてほしいと言うけれど、国もなかなかで「いいです」と言ってくれません。そこで、金利の

借り換えを考えながらやっているわけですが、皆さんに負担にならないように知恵と工夫でどういうやり方ができるのか考えながらやっていきたいと思えます。

【女性】 今、水のことです。ちょっと思いましたのですが、スーパーの前に地下水みたいな井戸があるのですけれど、その中がごみでいっぱいにあふれているのですが、その管理を誰がされているのか、ゴミが入らないように網を張るとかそういう設備ができませんかとお聞きしたいと思えます。

【企画総務課長】 井戸には、農業用と水道用があり、水道用の施設であれば市が対応します。農業用の施設であれば関係する方に対応していただくようご報告させていただきますので、この会の後に地図で場所を教えてくださいと思えます。

【市長】 どうぞ遠慮なく言っていただければと思えます。皆さん、例えば道の話だと国道もあつたり県道もあつたり市道もあつたり、私道や農道の所もありますよね。ですから皆さんが国の話か、県の話か、市の話か、いや水利組合さんの話か、改良区の話かと、迷われると思えますけれども、遠慮なく市役所に相談してください。松山市のことであればもちろん対応しますし、他のところだったら我々から話をお伝えすることもできます。例えば近い重信川のことです。申し上げますと、重信川は1級河川と言いまして国が管理していますが、「松山市に言うたつて何も変わらん」のではなくて、川や国道を担当している国土交通省の松山河川国道事務所と松山市はいい関係を保っており、話をお伝えすることはもちろんできますし、愛媛県の方にもお伝えできますので、どうぞ遠慮なく心配せずに「どこの担当かな」と松山市に言っていただければと思えます。取り次ぎをしますし、また皆さんの意見をお伝えします。

【男性】 先ほど防災無線が聞こえないという質問がありましたけれども、最近の新聞を見たら同じようなテーマの記事がありました。その中で現在、高齢者や耳の不自由な人が使える防災行政無線の戸別受信機ができていて、希望があれば松山市や行政に申し出てくださという内容の記事でした。それについて、松山市の場合はどうなっているのですか。

【防災・危機管理課長】 通常、携帯電話を持っている方には、避難勧告や避難指示を発信するときには緊急速報メールでお知らせして、7月7日・8日にも市内全域に、携帯電話のメールを流しており、そういった機器はお配りしていません。

【市長】 私から補足させてください。他の自治体の事例が全国紙に載っていたということをお知らせいただきましたけれども、例えば高齢の方の家でテレビの横に子機を設置している自治体はあります。私どもも検討したことがあります。例えば中島のような島しょ部になると高齢の方も多くなりますよね。中島では子機をつけたらどうだろうという話もあつたんですけれども、放送する内容が今はテレビでも多く流れますので、それだけお金をかけたとしても伝わることに差がないだろうということと、そのような機器

はコンセントが必ずささってなければいけませんし、皆さんがスピーカーの音量を絞っていると音が聞こえないこともあります。電源が切れて聞こえないこともあります。そういう長期間のメンテナンスも考えると、これを配布することは難しいだろうということになりまして、松山市では現在、戸別受信機を設置していません。先ほど課長も申し上げましたけれども、防災行政無線で流すとか、皆さんの携帯から流れてくるとか、テレビで見られるとか、さまざまな手法ができていますので、これからも皆さんにとって何が一番いい手法であるのかを検討しながら進めていきたいと思っています。

広報タイム「避難行動を再確認しよう」

【男性】 通学路の件ですけれど、浮穴小学校から柿の木交差点というところが、700メートルから800メートルくらいあります。今の浮穴小学校では児童数が多い通学路となっており、この区間は、グリーンベルトが敷かれていて、その幅を除けば、ほとんど車同士の離合ができない幅です。それに加えて、南郵便局前の県道がメイン道路ですが、通学と通勤の時間帯が重なるため、この県道を迂回（うかい）して通学路に侵入してくる車が多いです。特に業者さんの車が目立ちます。また、この通学路は制限速度が30キロですけれども、それ以上に飛ばしています。急いでいるのは分かります。そういう場所を児童が通学しているため、非常に危険です。ましてや、中には携帯で話しながら運転している方もいます。道路には30キロの標識はあるんですけれども、見えにくいので、路面に30キロという標示をつける要望を県の警察署に出しているとは聞いています。しかし、いつまでたっても標示されない現状です。ぜひ調査していただいて、早急に道路に標示していただくことをお願いしたらと思います。

【都市・交通計画課長】 先ほどの道路の路面標示のことですが、南警察署から「今年度中に実施します」と聞いていますが、今年度中となると3月末ということになってしまうため、改めて我々から、タウンミーティングでこのような声があったとことを警察署にお伝えしますので、もうしばらくお待ちください。

【市長】 皆さんお分かりの通り、信号の設置や赤になると止まりましょうという人を規制する話は警察の担当です。「ここは30キロ以下で走りましょうね」というのも警察の担当です。先ほど、30キロの標示は今年度中という話がありました。警察の担当の話でも遠慮なく言っていただけたらと思います。皆さん、少し思い出していただきたいのですが、平成24年に京都府亀岡市で通学をしていた子どもと保護者の列に若者が運転する軽自動車が入り込んで3人の方が死亡、7人の方が重軽傷という事故がありました。松山市でもこのような事故があってはならないと、平成24年の夏休みに、「地域の方も出てきてください。PTAの方も先生も出てきてください。親御さんも出てきてください。国道も県道も市道もありますから、もちろん市役所職員もいきますので、県の人も国の人も出てきてください」と通学路の一斉点検をさせていただきました。状況

も変わりますから、5年たった平成29年度にもう一回点検をさせていただきました。ここ危険だという通学路が全部で587カ所出てきたんですけれども、そのうちの505カ所の対策が完了しています。例えば浮穴地区には合計9カ所の危ないところが出てきたんですけれども、そのうち7カ所で交差点のマークをつけたり、横断歩道、カーブミラーを設置したりするなどの対策が既に完了しています。残り2カ所について松山南警察署からは、「今年度中に横断歩道の引き直しを予定している」と聞いています。もう1カ所の横断歩道の移設は、「町内会の意見を取りまとめて松山南警察署にご相談ください」と聞いています。浮穴小学校北側の道は少し細い道だったんですけれども、皆さんからのご要望と地区の方のご理解もいただいて、広げる作業をさせていただきました。このように地域のご要望をいただきながら、できるだけの道路整備をしていきたいと思っておりますので、遠慮なく松山市に言っていただけたらと思います。また、今日は会が終わると我々はすぐに帰るわけではありません。地図も持ってきています。例えば「この水路がちょっと危ないような気がします」という方いらっしゃいましたら、どうぞ遠慮なく言ってください。もちろんこの会の中で発言していただいてもいいので、ご意見いただけたらと思います。それでは一巡してみたいですので、私から森松の本村公園のことをお知らせします。現在ジャングルジムの付いた複合遊具やブランコ、スプリング遊具など、8種類の遊具があります。松山市では、施設の長寿命化計画を立て、古くなった遊具を新しい遊具に取り換えています。森松本村公園は、来年度に遊具の取り換えを予定していますので、地区の皆さんのお声を聞きたいと思っております。今年の秋以降に、公園管理協力会や自治会等と協議を行いまして、設置する遊具について検討させていただきます。森松本村公園の遊具は来年度には新しくなりますので、もう少しお待ちいただけたらと思います。

【男性】 地域のことについて、ちょっとお願いをしたいと思っております。私は松山市が推進する花づくりのメンバーとして、長く種を頂いて地域や河川敷等に花をいっぱい植えて、地域の方に楽しんでいただいております。先だって自分が管理するゲートボールの近辺で、ある若い人たちにいたずらをされました。そのことをずっと我慢していたのですが、今回は植木鉢を二つ割られたほか、椅子に見るに堪えないような言葉の落書きをされ、遠くへ放り投げて壊されている状態を目の当たりにして、小学校、中学校の先生に報告をして現場を見ていただきました。そのときに中学校の先生が、「最近子ども遊ぶ場所が少なくなった」との言葉が非常に気になっております。この浮穴は水と自然の非常に恵まれた地域でもありますので、そういった観点から河川敷を見てみると、まだまだ使用されていない場所がたくさんあります。そういったところに若者が自由に遊べる、サッカー場とかそういったものを作ってはどうか。そして、堤防から河川敷へ下りるところの施錠を外し下りていくと、西・東にかなり使われていないような場所があります。こういったところを若者のために有効利用できないかというお願い

です。

【都市・交通計画課長】 先ほど市長も言いましたように、重信川の河川敷は国土交通省が所有しており、松山市が借りて現在、ゲートボール場やソフトボールグラウンドなど、いろいろ整備しています。地元からのご意見があるということをして市の公園緑地課に伝え、国土交通省に要望していくことは可能だと思います。ただ、どのようにできるかは地元の方と話しなければいけませんので、公園管理協力会と市の方で少しお話させてもらいたいと思います。

【男性】 ソフトボールの広場にバックネットが二つあり、その1カ所でサッカーボールを蹴る光景をまあまあ見るんです。そのため、サッカーボールが堤防を越え、お家に二度当たっています。一回はガラスが割れました。このことは軽視、無視できないと思います。そういった意味合いでも人家のないところに、若者が自由に思いっきり遊べるものを作っていただけないかなと思います。

【都市・交通計画課長】 現在、ボール遊びで危険な場所がありましたら、公園管理協力会と話をさしてもらい、危険の案内をすることがまず一つ考えられます。先ほども申しましたように、国土交通省の許可が必要になりますので、ご意見を今後、検討していきたいと思います。

【男性】 松山市が看板を作ってくれたのですが、半月、もたなかったです。

【市長】 利用者のマナーのことにもなると思います。子どもが関わっている案件でしたら、松山市立の小学校、中学校に「こういった事例があったので、先生方から注意してもらえませんか」と言うこともできますので、遠慮なく市役所に言っていただけたらと思います。それから、浮穴の花の活動は立派だと思います。曼珠沙華ロードですとかアサガオのコンクールですとか、もう60年にもなりますかね、タイミングがうまく合えば、私も60年の還暦と言いましょか、60年前からやっているということですから、お祝いを申し上げに行きたいと思う素晴らしい活動だと思います。花の活動は各地区で盛んで、高齢の方でも比較的取り組みやすいですね。鉢は重いものもありますけれども、比較的軽い作業でできるということと、皆さんが見て綺麗と思われるので、花づくりはかなり進んでいます。60年も前からアサガオのコンクールをされている浮穴さんはすごいなと思います。あと防犯のことで皆さんにお願いがあります。ブローケンウインドウ理論、ブロークンは「壊れる」、ウインドウは「窓」のことでして、割れ窓理論なんて言いまして、アメリカのニューヨーク市長が以前提唱したのですけれども、空き家があつて窓が割られて、それをほったらかしにしていると、その地区はそういう悪いことをしても別に怒られないんだなということで、どんどん悪い事例が広がっていくというのが、割れ窓理論、ブローケンウインドウ理論です。ですから、早いうちに対処しておくことがすごく大事なことになります。直接子どもたちに言うのは怖いなということはあると思いますので、遠慮なく市役所に言っていただけたらと思います。安全安心を担当している課もありますし、学校教育課から小学校、中学校に言うこともできます

ので、遠慮なく言っていただけたらと思います。もう一点だけ、浮穴地区の道路整備で地区から要望を受けていたサンパークの外周道路の件です。地元からの要望を受けまして、整備を進めています。サンパークの外周道路があつて、赤は令和元年度中の完成、川の上流側になりますが青は令和2年度の完成、緑は令和3年度以降に着手予定です。これは地元から要望を頂いて工事しているもので、道路整備の要望は、松山市・北条地域・中島を合わせて41地区から頂いており、限られた財源の中バランスを取りながら整備を進めています。ちょうどご意見が1巡したようですので、このあたりで終了とさせていただきます。今日いろいろと申し上げましたけれども、市役所は、市民の皆さんの役に立つ所で市役所でなければいけないと思っています。また「こういうやり方ができます」とか、「こういうやり方はできなくてもこういうやり方だったらできます」とか「他の地区ではこんなやり方をしています」など情報提供をすることもできます。国の話だったら、私たちから国に言うこともできますし、県に言うことも警察に言うこともできます。とにかく市と県と国があつて、一番市民の皆さんに近いのは市です。市役所には戸籍とか住民票で行かれる方が多いと思いますけれども、県や国の役所に行くことは、ほとんどないと思います。我々が皆さんとの距離の近さを手放してしまったら存在意義がないと思っていますので、どうぞ遠慮なく市役所に相談をしていただけたらと思います。今日はコロナウイルスの関係で皆さんにマスクをしていただいたの参加となりました。私も一時間半マスクして話をさせていただきました。皆さんにはご理解いただきましてありがとうございます。本日はありがとうございました。

—了—